

KIKUCHI PROJECTION SCREEN

イーザーフラットスクリーン

取り扱い及び設置説明書 (E F)

このたびはキクチプロジェクションスクリーンをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。

お求めのプロジェクションスクリーンを正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの「取り扱い及び設置説明書」をよくお読みください。

お読みになったあとは大切に保存し、わからないことがおきたときに読みなおしてください。

安全上のご注意

スクリーンを正しく利用し、人や財産への損害を未然に防止するため、使い方や設置の仕方を誤ったときに生じる危害や損害の程度により次の絵表示で区分し、説明しています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

下記のマークのある注意事項及び、指示内容に関しては、必ずお守りください。



この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」の内容を表しています。



この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を表しています。



このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」の内容を表しています。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」の内容を表しています。



このような絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」の内容を表しています。

取扱い上の不備又は天災などによって発生する事故・損傷については、当社は一切責任を負いかねます。

目次

安全上のご注意	1
概要	
本機の特長	2
各部の名称と働き	3
組み立て / 取り付け	
組み立てする	4、5
取り付けする	6～9
スクリーン面の取り扱い方法	10

本機の特長

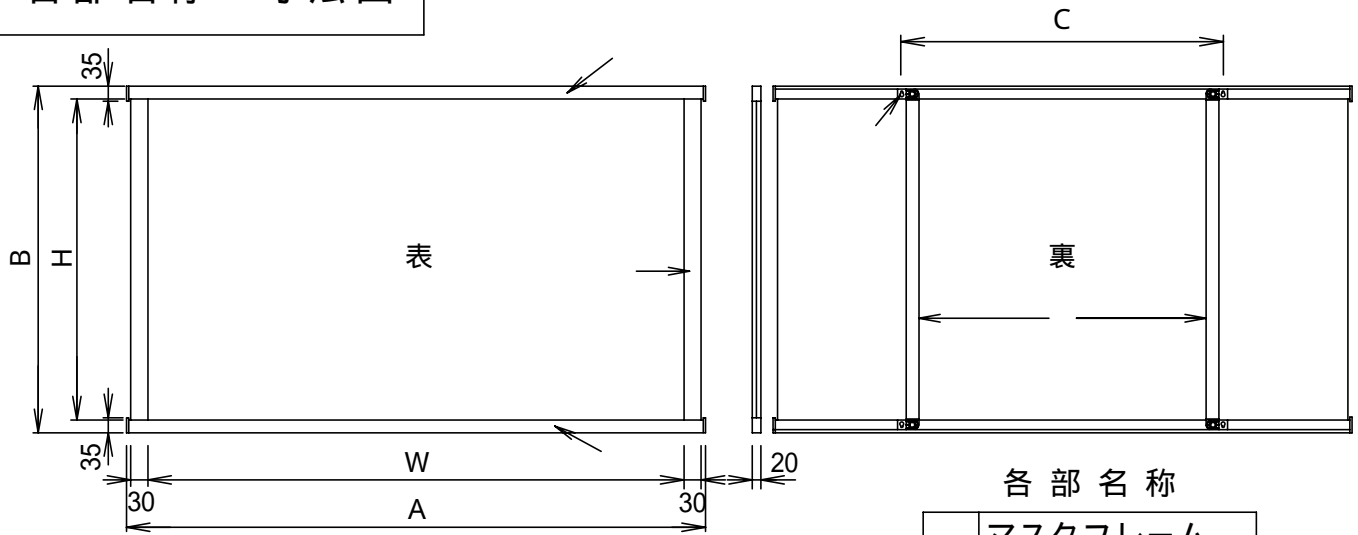
KIKUCHIオリジナルのテンションアーム方式を採用したNew Typeのフラットスクリーン。

特殊なツールを使うことなく簡単にセッティングできます。

取り付けも付属のアタッチメントを使うことで、吊り下げたり、壁に直接固定したりと、自由自在。お部屋にあわせて容易にインストールできます。

- ・優れた平面性
テンションアーム方式の採用により、優れた平面性を確保しています。
- ・簡単なセッティング
テンションアーム方式は、特殊なツールを使うことなく、簡単なセッティングを可能としています。
- ・徹底した軽量設計
フレーム素材 / 形状にいたるまで独自の設計により、徹底した軽量化を図っています。
- ・容易なインストール
付属の取り付け用アタッチメントを使用し、様々な取り付け方式を選択できます。お部屋の状況に合わせて容易に設置できます。

各部名称・寸法図



各部名称

マスクフレーム
テンションアーム
スクリーン面
マスク
壁取り付け用穴

スクリーン規格一覧

(NTSCタイプ 4:3)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	スクリーン外形寸法		取付穴ピッチ C	重量
ホワイトマットアドバンス	グレイマットアドバンス		A	B		
EF- 60WA	EF- 60AM	1219 × 914	1289	977	985	2.1
EF- 70WA	EF- 70AM	1422 × 1067	1492	1130	1137	2.5

(ハビジョンタイプ 16:9)

型番		スクリーンサイズ (W) × (H)	スクリーン外形寸法		取付穴ピッチ C	重量
ホワイトマットアドバンス	グレイマットアドバンス		A	B		
EF- 60HDWA	EF- 60HDAM	1328 × 747	1400	810	818	2.2
EF- 70HDWA	EF- 70HDAM	1549 × 872	1621	935	941	2.6

単位 mm/kg

付属品

下記の設置用部品が付属しています。

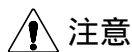
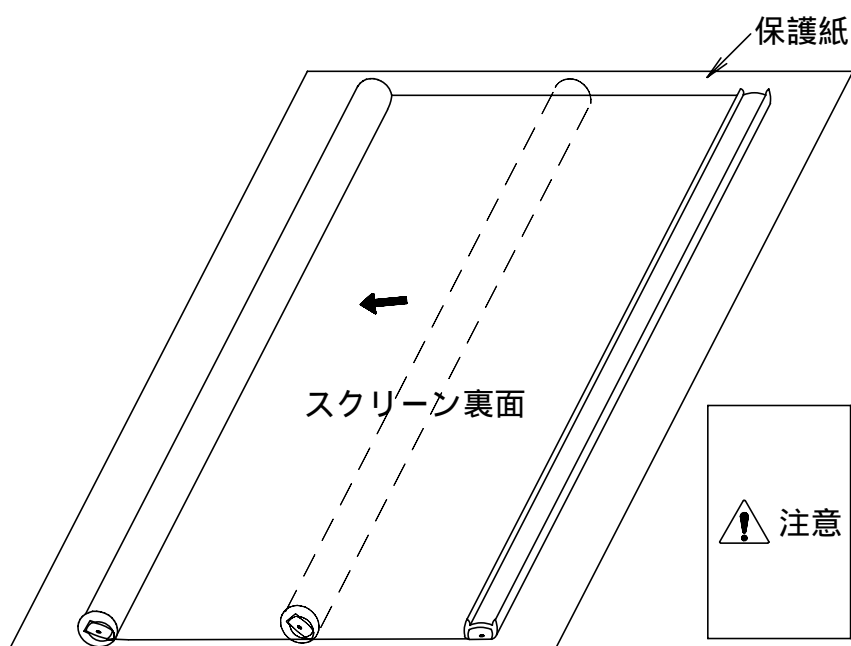
* 取り扱い説明書 (1冊)

取り付け用フックパーツ (2個)	石こうボード用トグラ (2個)
取り付け用フランジ付き タッピングビス(4×30mm) 2本	同上用プッシュピン (1個)
取り付け用フランジ付き タッピングビス(4×16mm) 2本	ヒートン (1個)
吊り下げ用ひも付きリング (1式)	取り付け用三角シール (1枚)

スクリーン組み立て方法

スクリーンを広げます。

スクリーンを巻いている茶色の保護紙とともにスクリーンを平らな場所に広げてください。



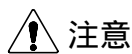
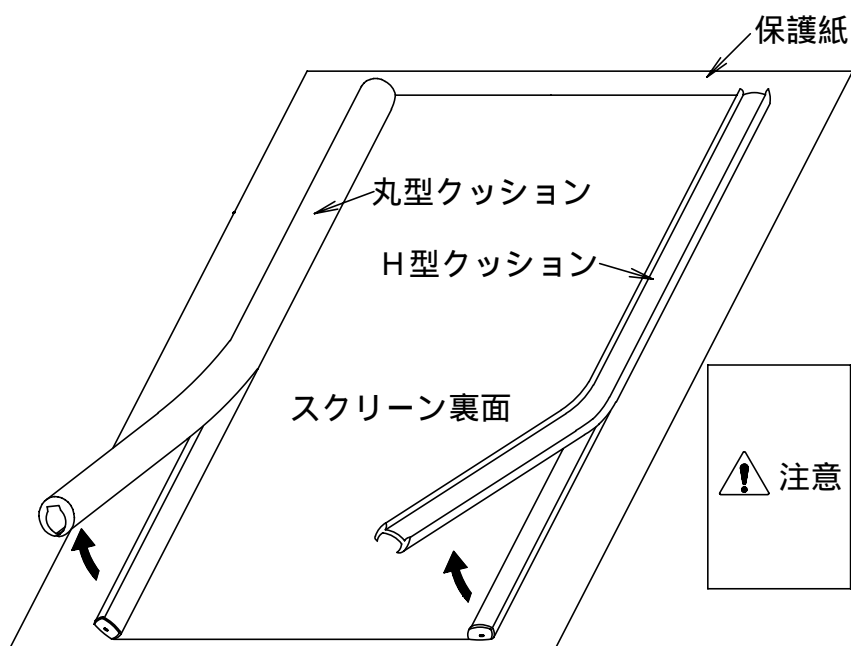
注意

必ずスクリーン外形寸法より広い場所で広げてください。スクリーンがすべて広がっていないと、組み立てすることができません。

クッションをはずします。

上下のフレームを保護しているH型、丸型クッションをはずしてください。

保護紙、H型、丸型クッションは、スクリーンを収納するときに必要になりますので、収納してお使いいただく方は保管して置いてください。



注意

H型、丸型クッションをはずす際、フレーム、スクリーンに傷が付かない様に、フレームに手を添えながらゆっくり丁寧にはずしてください。

スクリーン組み立て方法

スクリーンを組み立てます。

図1 . 赤い三角シール側の角穴の中にある長方形のプッシュボタンAをペンの背中または指先などで軽く押しながらスクリーンの中央方向へ押し出してください。
テンションアームが出て来ます。

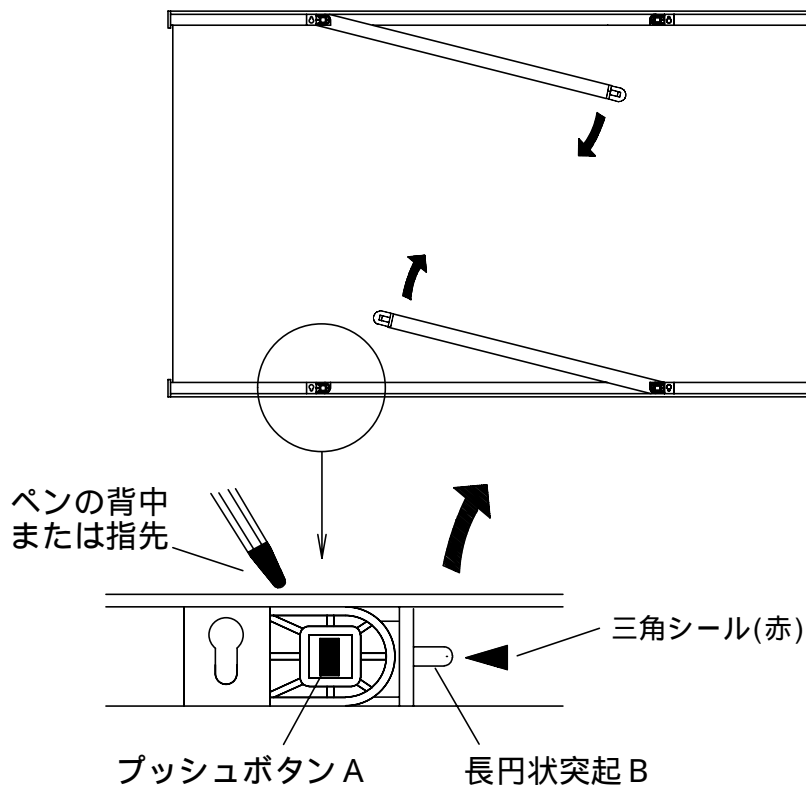
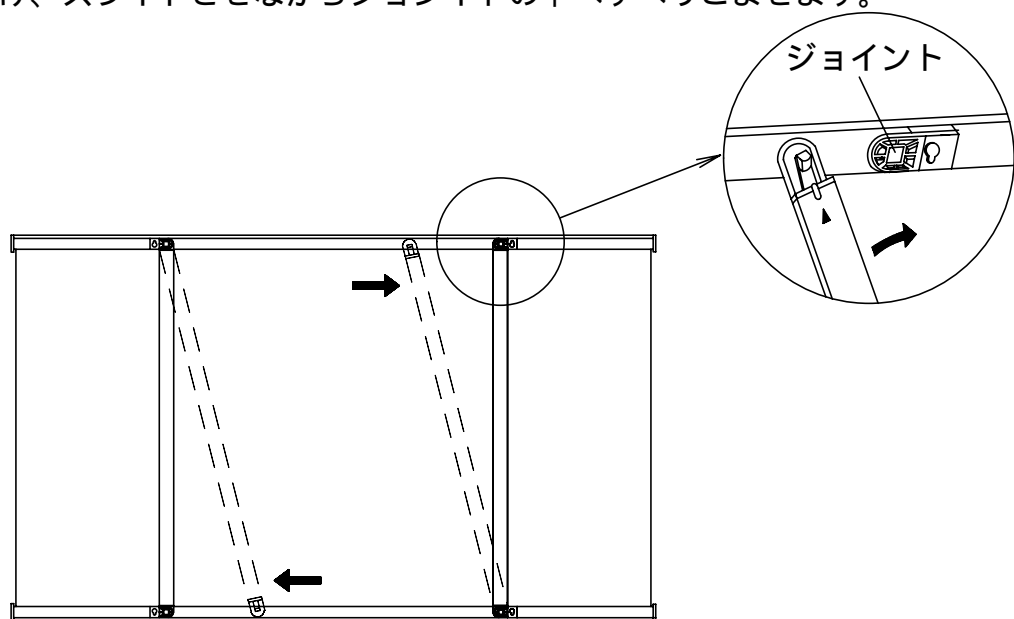


図2 . テンションアームを押し出した所にできた段差に反対側のテンションアームの先端部を押しつけ、スライドさせながらジョイントの下へすべりこませます。



* スクリーンを収納する時は逆の手順で行ってください。

スクリーン取り付け方法

合板の壁に取り付けする場合

フックパーツを使用してスクリーンを取り付ける場合

- 1 - 1 取り付け用穴ピッチを床と平行になるように調整し、壁にペンなどでマーキングしてください。

取り付け穴ピッチは

60インチ (4 : 3) 800 ~ 850 mm

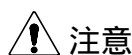
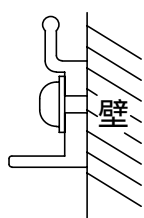
60インチ (16 : 9) 650 ~ 700 mm

70インチ (4 : 3) 950 ~ 1000 mm

70インチ (16 : 9) 750 ~ 800 mm

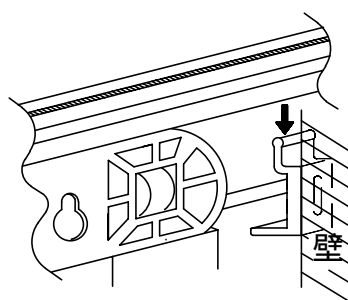
以内にしてください。

- 1 - 2 付属のフランジ付きタッピングビス (4 × 30mm) を ⊕ ドライバーでねじ込んでください。

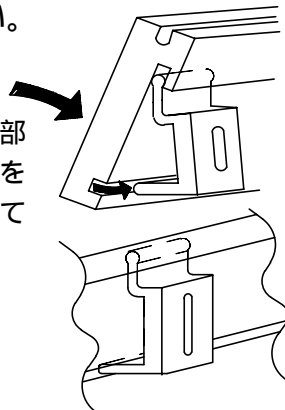


注意
合板の壁のすぐ後ろに、コンクリートなどの硬い素材がある場合はビスが完全にねじ込めないことがあります。その場合は、付属のフランジ付きタッピングビス (4 × 16mm) を使用してください。

- 1 - 3 スクリーン裏のマスクフレームの溝を、取り付けしたフックパーツに確実にかけてゆっくりスクリーンを離してください。



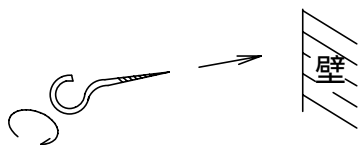
先にフックパーツの上部にマスクフレームの溝をいれ上から押さえつけてください。



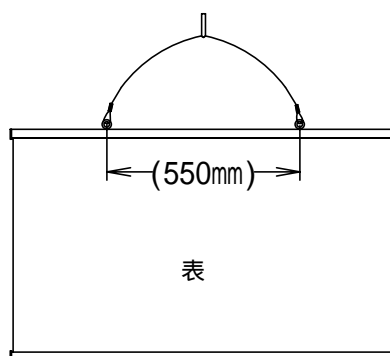
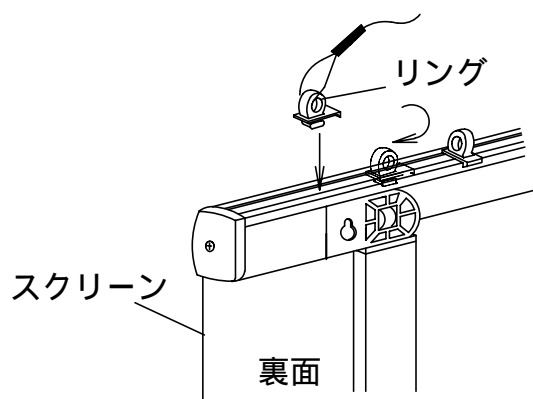
次にフックパーツの下部をマスクフレームの下部の溝に入れてください。この時マスクフレームを矢印の方向から強めに押し込んでください。

ヒートンを使用してスクリーンを取り付ける場合

- 2 - 1 付属のヒートンを、ご希望の位置にしっかりとねじ込んでください。



- 2 - 2 フロントバー上部の溝に平行にリングを差込み、90度ひねってセットします。



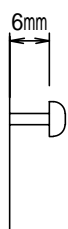
リング間は550mm程度にセットしてください。

スクリーン取り付け方法

取り付け用穴を使用してスクリーンを取り付ける場合

- 3 - 1 取り付け用穴ピッチを床と平行になるように調整し、壁にペンなどでマーキングしてください。
- 3 - 2 鍋頭ビス(4×30mm推奨)を下図のように6mmのこしてドライバーでねじ込んでください。

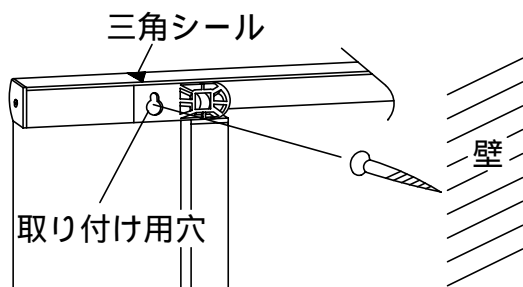
取り付け用鍋頭ビスは用意されておりません。お客様でご用意ください。



注意 この長さより短かくした時や長くした時は、スクリーンが平面に取付かなくなる事がありますので、必ずお守りください。

注意 合板の壁のすぐ後ろに、コンクリートなどの硬い素材がある場合はビスが完全にねじ込めない事があります。その場合は、鍋頭ビス(4×16mm推奨)を使用してください。

- 3 - 3 取り付ける前に取り付け穴上部に付属品として同梱されている三角シールをはりつけてください。この三角シールと取り付け用ビスの位置を合わせて、差し込み、確実に入った所でゆっくりスクリーンを離してください。



注意 下からスクリーンを持ち上げないでください。誤って持ち上げた場合、スクリーンが取り付け穴からはずれ、落下する恐れがあります。

石こうボードに取付する場合

フックパーツを使用してスクリーンを取り付ける場合

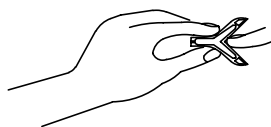
- 1 - 1 取り付け用穴ピッチを床と平行になるように調整し、壁にペンなどでマーキングしてください。

取り付け穴ピッチは

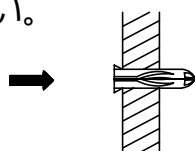
- 60インチ(4:3)・・・800～850mm
- 60インチ(16:9)・・・650～700mm
- 70インチ(4:3)・・・950～1000mm
- 70インチ(16:9)・・・750～800mm

以内にしてください。

- 1 - 2 十字ドライバー2番(JIS規格6mm径)で石こうボードに直接、まわしながら下穴をあけてください。
- 1 - 3 開いてるトグラを図のようにたたみます。

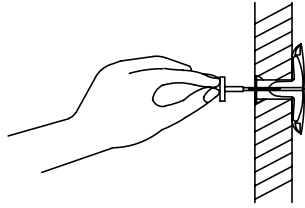


- 1 - 4 たたんだトグラを壁の穴に差し込んでください。入れにくい場合はハンマーで軽くたたいてください。

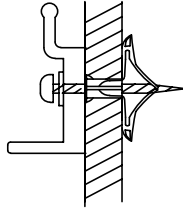


スクリーン取り付け方法

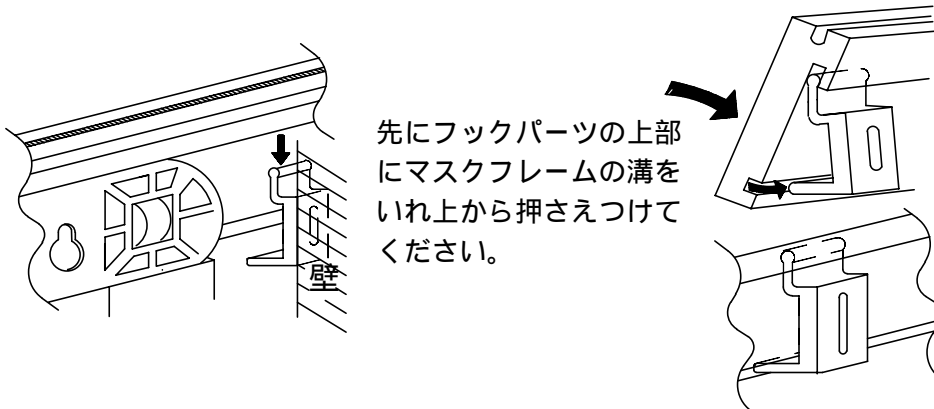
- 1 - 5 壁に差し込んだトグラーに付属のピンを押し込んでください。この場合ハンマーでたたかないでください。壁の中でエッジが開き、しっかり固定されます。



- 1 - 6 付属のフランジ付きタッピングビス (4×30mm) を ⊕ ドライバーでねじ込んでください。



- 1 - 7 スクリーン裏のマスクフレームの溝を、取り付けしたフックパーツに確実にかけてゆっくりスクリーンを離してください。

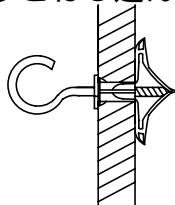


先にフックパーツの上部にマスクフレームの溝をいれ上から押さえつけてください。

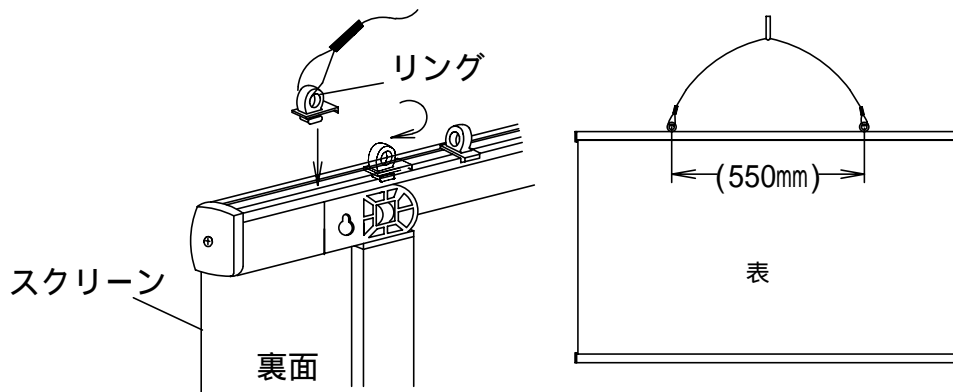
次にフックパーツの下部をマスクフレームの下部の溝に入れてください。この時マスクフレームを矢印の方向から強めに押し込んでください。

ヒートンを使用してスクリーンを取り付ける場合

- 2 - 1 石こうボード用トグラーの取付けの手順は、1 - 2 から 1 - 5 を参照してください。
2 - 6 付属のヒートンをしっかりとねじ込んでください。



- 2 - 7 フロントバー上部の溝に平行にリングを差し込み、90度ひねってセットします。



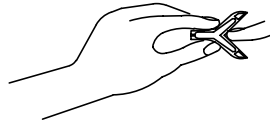
リング間は550mm程度にセットしてください。

スクリーン取り付け方法

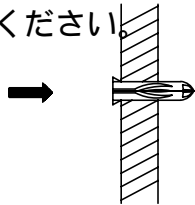
石こうボードに取付する場合

取り付け穴を使用してスクリーンを取り付ける場合

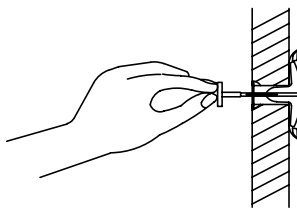
- 3 - 1 取り付け用穴ピッチを床と平行になるように調整し、壁にペンなどでマーキングしてください。
- 3 - 2 十字ドライバー 2 番 (J I S 規格 6mm 径) で石こうボードに直接、まわしながら下穴をあけてください。
- 3 - 3 開いてるトグラを図のようにたたみます。



- 3 - 4 たたんだトグラを壁の穴に差し込んでください。入れにくい場合はハンマーで軽くたたいてください。

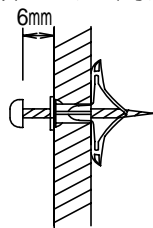


- 3 - 5 壁に差し込んだトグラに付属のピンを押し込んでください。この場合ハンマーでたたかないでください。壁の内でエッジが開き、しっかり固定されます。



- 3 - 6 鍋頭ビス (4 x 30mm 推奨) を下図のように 6 mm のこしてドライバーでねじ込んでください。

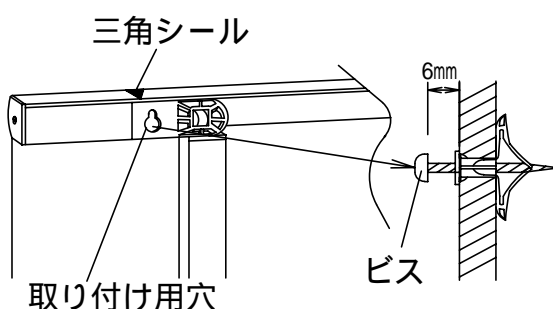
取り付け用鍋頭ビスは用意されておりません。お客様でご用意ください。



注意

この長さより短かくした時や長くした時は、スクリーンが平面に取付かなくなる事がありますので、必ずお守りください。

- 3 - 7 取り付け前に取り付け穴上部に付属品として同梱されている三角シールをはりつけてください。この三角シールと取り付け用ビスの位置を合わせて、差し込み、確実に合った所でゆっくりスクリーンを離してください。



下からスクリーンを持ち上げないでください。誤って持ち上げた場合、スクリーンが取り付け穴からはずれ、落下する恐れがあります。

注意

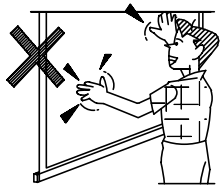
スクリーン面は反射性能を特別に強力にするために、スクリーン表面が特殊な構造になっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なうことがありますので、次のことに十分注意をして、丁寧にお取り扱いください。

使用上のご注意

スクリーン面に手をふれないでください。



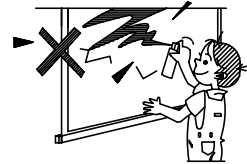
禁止



スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。



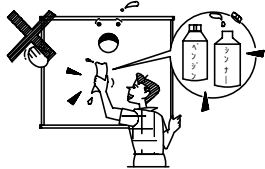
禁止



水を湿らせた布やベンジン、シンナー等でスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。



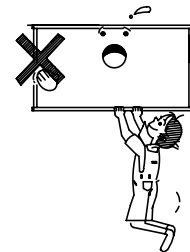
禁止



マスクフレームやスクリーンにぶらさがったりしないでください。破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

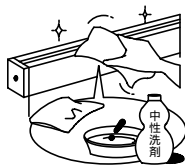


警告

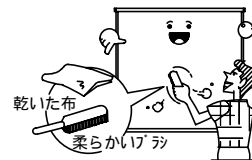


お手入れのしかた

マスクフレームの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



スクリーン面のほこりをとるときは乾いた布でふくか、柔らかいブラシで払ってください。



置き場所・保管についてのご注意

直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱気具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。又、高温の車中への放置もさけてください。



KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC

株式会社 キクチ科学研究所

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合3-12-35
TEL.(03)3952-5131 (代) FAX.(03)3953-0051

大阪営業所 〒550-0014 大阪府大阪市西区北堀江1-6-24
Y's ビアアクセス心斎橋7F
TEL.(06)6538-6070 (代) FAX.(06)6537-2321

戸田MLC 〒335-0031 埼玉県戸田市美女木7-13-6
TEL.(048)422-3821 (代) FAX.(048)422-3844

<http://www.kikuchi-screen.co.jp/>